

図画工作科学習指導案

指導者 横浜市立相沢小学校 T1 星野 薫子

T2 原山 雅治

T3 松野 友里

T4 保谷 雅也

1. 日時・場所 令和元年 12月 4日(水) 第5校時 場所 ログスペース、多目的室
2. 学年・組 個別支援学級(知的12名、自閉・情緒7名 計19名)
3. 「学習の方向性」から題材へ

「学習の方向性」

- 材料を基に造形的な活動を思い付き、思いのままにつくる。【造形遊び】
- 活動したことや表現したものの面白さや楽しさなどを感じ取ったり考えたりして、見方や感じ方を広げる。【B鑑賞】

子どもたちの姿

自分の世界を表現することが得意な児童が数名在籍しており、普段の図工の授業では、友達の表現活動の姿を見てまねをしたり、友達の表現を見て自分の表現にも自信をもったりすることが多い。また、造形遊びでも多くの児童が思い思いにつくり続ける姿がみられる。

反面、数名の児童が何をしたいのか何をつくろうかに悩んでなかなか手が動かないことがある。思いがうまく表せなかったときや、どうすすめていいかわからなくなってしまったときに、表現活動に前向きに取り組めなくなることが多い。7月に行ったペットボトルキャップを使った造形遊びでは、自分の好きな色を集めて並べたり、自分の周りを囲ったり、友達と一緒に高く積んだりする姿が見られた。その一方で、表現活動の苦手な児童は色分けをして友達に渡す役をしたり、前向きに取り組めずにいる様子が見られたりした。

教師の願い

言葉や文字からだけでなく、自分の思いを様々な方法で表現できる人になってほしいと考えている。自分を表すツールの一つとして図画工作の学習を通して、表現の幅を広げてほしいと思う。また、友達の表現を見たり、気に入っている部分の説明を聞いたりして、一緒に良さを感じられるようになってほしい。

表現が苦手な児童には、造形遊びに取り組むことで、「なんとなく」という気持ちでつくってもいいのだということを伝えるなどして、少しでも自分の思いを表すことができるようになってほしい。

題材名

「せんたくバサミン だいしゅうごう」
～ ならべて はさんで つなげて たてて ～ 【造形遊び】

題材目標

- カラー洗濯バサミ並べたり、つないだりしながら進んで活動を楽しむようにする。
- カラー洗濯バサミを使って、手や体全体の感覚を使って活動するとともに、色の感覚を生かして、造形的な活動ができるようにする。
- 自分たちの活動や友達の撮った写真を見て、面白さや楽しさを感じられるようにする。

題材について

本題材は、カラー洗濯バサミを並べる、はさむ、つるす、立てるなどの活動を通して、造形遊びを楽しむ題材である。今回は洗濯バサミを擬人化した「せんたくバサミン」の出てくるパワーポイントを見せ、色のイメージをもたせるとともに、せんたくバサミンがたくさん集まるいろいろなものが表現できたり、色の組み合わせによってイメージが変わってきたりすることを伝えていく。並べる、つなげるなどの基本的な活動も見せることで、安心して活動お思い付けるようにしたい。

今回の題材は、洗濯バサミという身近なものでありながら、普段使わない色があったり、普段目にしないくらい沢山の量があったりという少し非日常的なものである。一つひとつは洗濯バサミなので、安心して活動に取り組むことができ、色と量で興味関心をもつこともできると考えている。また、発達段階や筋力の差など、様々な実態の児童がいる中でも、どの児童も自分の力で参加できるものであり、つまんだり洗濯バサミ同士を挟んだりすることで指先の巧緻性を向上させ、そろえて並べることでバランス感覚を養うなどの効果も期待したい。

○学習の主題にかかわる育む資質・能力と本題材との関連

普段の洗濯バサミ使い方だけでなく、並べたり、積んだり、立てたりする活動を思い付き、思いのままにつくる。また、場をもとに、形を変えたり色を並べたりすることによって印象が変わることに気づき、いろいろなよさに気付く。

○本題材における〔共通事項〕についてのとらえ

〔共通事項〕ア 自分の感覚や行為を通して、形や色などに気付くこと。
イ 形や色などを基に、自分のイメージをもつこと。

自分の力で並べたり、つないだりすることで、洗濯バサミの形の特徴をつかんでいってほしい。また、色の中から自分で好きな色を選択してほしい。色を組み合わせることで感じ方が変わり、どうすれば自分のイメージに合うのかを工夫していってほしい。

4. テーマに迫るために

部会テーマ

思いのままにつくることを楽しむ子どもの姿を目指して

○出会いの工夫

洗濯バサミを擬人化してパワーポイントを作り、今回の学習で使う、ならべる、つなげるなどの基本的な技法を紹介し活動への見通しがもてるようにする。また、色のもつイメージや、組み合わせるとどう変化するかを簡単に紹介し、造形遊びへの意欲を高めていく。

○場の設定の工夫

鏡やログスペースなど普段の教室にはないものが設置されているスペースと、広く自由に使える多目的室を児童が自由に行き来して活動の場を選択できるようにした。自分の思いにあわせて場を選んだり、気に入った場にあわせて造形活動を始めたりと活動の広がりもてるようにする。

○共感的支援の工夫

活動が進むにつれて、新しいつなげ方に挑戦したり、自分で組み合わせを考えたりしていくことを教師が見取っていき、さらに活動を広げられるとよいと考えている。活動時間の途中でも、自分が気に入ったところがあったら、iPadで撮影できるようにしておく。見合う時間に、お気に入りのポイントや、その後、どう変化していったかなどを共有できるようにする。

○小中一貫の視点

今回の授業と一緒に活動する児童は、1年1名、2年2名、3年1名、4年6名、5年6名、6年3名の計19名である。学年間の人数のばらつきだけでなく、障害種もばらばらな児童一人ひとりの実態や伸ばしたい力を明確にし、目標をたて、小学校のうちにできるだけ多くの経験を積んでいってほしいと考えている。その中でも、実態も年齢も違う子どもた

ちが主体的に活動にかかわれるように、教師が声をかけたり、子どもたち同士で関わりがもてるような場を設けたりしていきたい。

5. 題材の評価規準

星野先生チーム

	造形への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
A 児	洗濯バサミを並べたり、つないだりする活動に進んで取り組もうとしている。	洗濯バサミの色を基に、造形的な活動を思い付いている。	洗濯バサミを並べたり、つないだりする方法を組み合わせて活動している。	活動でできあがったものを見て楽しむ。
B 児	洗濯バサミを並べたり、つないだりする活動に進んで取り組もうとしている。	洗濯バサミの色や形を基に、造形的な活動を思い付いている。	洗濯バサミを並べたり、つないだりする方法を組み合わせて活動している。	できあがったもののよさを、友達や教師に伝えられる。
C 児	洗濯バサミを並べたり、つないだりする活動に取り組もうとしている。	洗濯バサミの色を基に、造形的な活動を思い付いている。	洗濯バサミを並べたり、つないだりする方法を組み合わせて活動している。	できあがったもののよさを、友達や教師に伝えられる。
D 児	洗濯バサミを並べたり、つないだりする活動に取り組もうとしている。	洗濯バサミの色や形を基に、造形的な活動を思い付いている。	洗濯バサミの色をいかして活動している。	できあがったもののよさを、友達や教師に伝えられる。
E 児	洗濯バサミを並べたり、つないだりする活動に取り組もうとしている。	洗濯バサミの色を基に、造形的な活動を思い付いている。	洗濯バサミの色をいかして活動している。	活動でできあがったものを見て楽しむ。
F 児	洗濯バサミを並べたり、つないだりする活動に進んで取り組もうとしている。	洗濯バサミの色を基に、造形的な活動を思い付いている。	洗濯バサミの色をいかして活動している。	活動でできあがったものを見て楽しむ。

原山先生チーム

	造形への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
G 児	洗濯バサミを並べたり、つないだりする活動に取り組もうとしている。	洗濯バサミの色や形を基に、造形的な活動を思い付いている。	洗濯バサミを並べたり、つないだりする方法を組み合わせて活動している。	できあがったもののよさを、友達や教師に伝えられる。
H 児	洗濯バサミを並べたり、つないだりする活動に進んで取り組もうとしている。	洗濯バサミの色や開き方の加減などを基に、どのように活動しようか考えられている。	洗濯バサミを並べたり、つないだりする方法を組み合わせて活動している。	できあがったもののよさを、友達や教師に伝えられる。
I 児	洗濯バサミを並べたり、つないだりする活動に進んで取り組もうとしている。	洗濯バサミの色や形を基に、造形的な活動を思い付いている。	洗濯バサミを並べたり、つないだりする方法を組み合わせて活動している。	友達や自分の活動でできあがったものの形や色から、面白さや楽しさを感じようとしている。
J 児	洗濯バサミを並べたり、つないだり、つるしたりして活動に取り組もうとしている。	洗濯バサミの色や開き方の加減などを基に、どのように活動しようか考えられている。	洗濯バサミの様々な扱い方と、場の特徴を組み合わせて活動している。	できあがったもののよさを、友達や教師に伝えられる。

松野先生チーム

	造形への関心・意欲 ・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
K児	洗濯バサミを並べたり、つないだりする活動に進んで取り組もうとしている。	洗濯バサミの色や形を基に、造形的な活動を思い付いている。	洗濯バサミを並べたり、つないだり、つるしたりする方法を組み合わせる活動している。	できあがったものの形や色から、面白さや楽しさを感じようとしている。
L児	洗濯バサミを並べたり、つないだり、つるしたりして活動に取り組もうとしている。	洗濯バサミの色や開き方の加減などを基に、どのように活動しようか考えられている。	洗濯バサミの様々な扱い方と、場の特徴を組み合わせる活動している。	友達や自分の活動でできあがったものの形や色から、面白さや楽しさを感じようとしている。
M児	洗濯バサミを並べたり、つないだり、つるしたりして活動に取り組もうとしている。	洗濯バサミの色や開き方の加減などを基に、どのように活動しようか考えられている。	洗濯バサミの様々な扱い方と、場の特徴を組み合わせる活動している。	友達や自分の活動でできあがったものの形や色から、面白さや楽しさを感じようとしている。
N児	洗濯バサミを並べたり、つないだり、つるしたりして活動に取り組もうとしている。	洗濯バサミの色や形を基に、造形的な活動を思い付いている。	洗濯バサミを並べたり、つないだり、つるしたりする方法を組み合わせる活動している。	友達や自分の活動でできあがったものの形や色から、面白さや楽しさを感じようとしている。
O児	洗濯バサミを並べたり、つないだり、つるしたりして活動に取り組もうとしている。	洗濯バサミの色や開き方の加減などを基に、どのように活動しようか考えられている。	洗濯バサミの様々な扱い方と、場の特徴を組み合わせる活動している。	できあがったものの形や色から、面白さや楽しさを感じようとしている。

保谷先生チーム

	造形への関心・意欲 ・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
P児	洗濯バサミを並べたり、つないだりする活動に取り組もうとしている。	洗濯バサミの色や形を基に、造形的な活動を思い付いている。	洗濯バサミを並べたり、つないだりする方法を組み合わせる活動している。	できあがったものよさを、友達や教師に伝えられる。
Q児	洗濯バサミを並べたり、つないだりする活動に取り組もうとしている。	洗濯バサミの色を基に、造形的な活動を思い付いている。	洗濯バサミの色をいかして活動している。	できあがったものよさを、友達や教師に伝えられる。
R児	洗濯バサミを並べたり、つないだりする活動に取り組もうとしている。	洗濯バサミの色を基に、造形的な活動を思い付いている。	洗濯バサミの色をいかして活動している。	活動でできあがったものを見て楽しむ。
S児	洗濯バサミに興味をもち、活動に参加しようとしている。	洗濯バサミの色を基に、造形的な活動を思い付いている。	洗濯バサミの色をいかして活動している。	活動でできあがったものを見て楽しむ。

6. 指導と評価の計画 全2時間

ア・・・カラー洗濯バサミと出会う。洗濯バサミを並べたり、つなげたり、積んだりする活動や自分の感じた色のイメージを用いて活動を広げていく。(1時間)

イ・・・気に入っている部分を友達に紹介したり、友達の表現の説明を聞いたりして、表現の違いやよさを伝え合う。また、自分の活動にも取り入れるなど工夫して活動をする。(1時間)

	子どもの学習活動	評価規準	教師の指導
1 時 (本時)	○パワーポイントをみて活動の見通しをもつ。 ・何色を使おうかな。	関	○できることやルールを確認する。
	ア せんたくバサミンで なにができるかな		
2 時	○洗濯バサミと出会う。 ・並べてみよう。 ・どこまでつなげられるかな。	技	○児童の発達段階に応じて場の特徴も利用して表現ができるように声かけをする。
	○友達の活動を見る。 ・どうやってつくったのかな。 ・きれい。		○写真のどこに注目すればよいかを明確にするために、言葉を付け足したり、指棒などを用意したりする。
	○さらに自分の活動を工夫する。 ・あの子のをまねしてみようかな。	発 鑑	○どう展開していくか困っている児童に声かけをする。
	イ せんたくバサミン だいがったい		
	○続きからつくりはじめ、どんな活動をしたかを写真に撮る。 ・この部分を頑張ったよ。	鑑	○前時の気持ちや思いをつなげられるように振り返りをする。
	○友達の表現を見て感想を伝える。 ・この子のが好き。 ・並べ方がおもしろいね ・色がだんだんで楽しいね		○実態に合わせて、感想が伝えられるようにする。
	○片付けをする。		○協力して片づけられるように声かけをする。

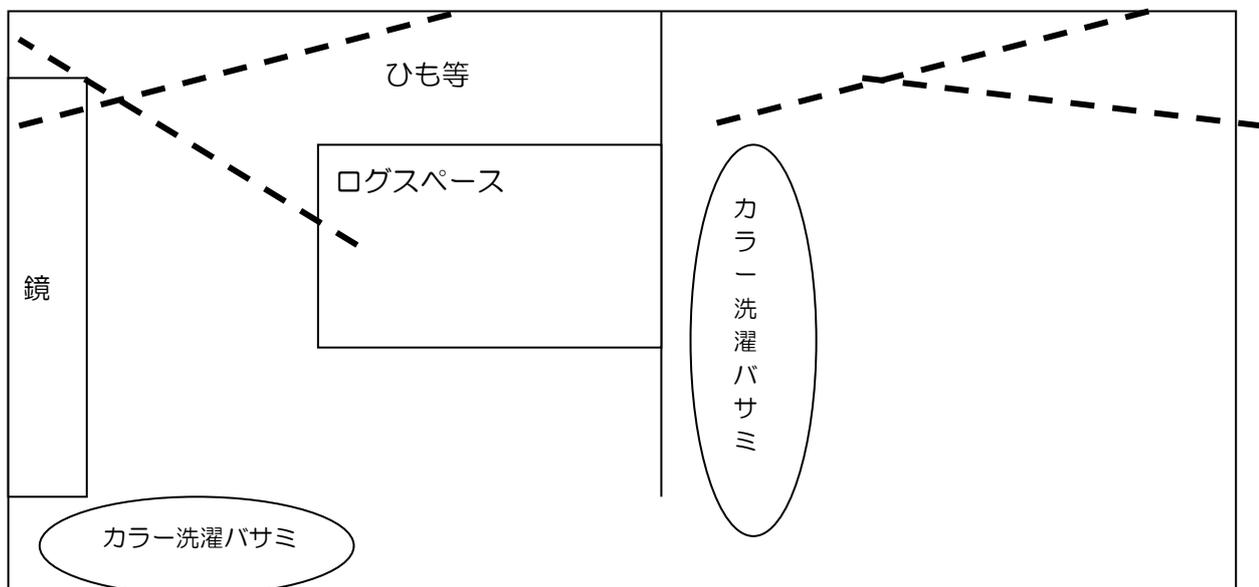
7. 準備

児 童：（必要な児童）洗濯バサミを入れるかご

教 師：カラー洗濯バサミ、ひも、iPad4台、appleTV、テレビ、パソコン

8. 場の設定

□グススペース、多目的室



9. 本時の計画 (1 / 2時)

展開

子どもの学習活動	評価方法	教師の指導
<p>○パワーポイントを見て活動への見通しを持つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> •どんな風にしようかな。 •何色を使おうかな。 	<p>関</p>	<p>○パワーポイントを使って本時の活動内容、できること、活動をするときの約束を確認する。</p>
<p>せんたくバサミンをあつめて なにができるかな？</p>		
<p>○使いたい色と数の洗濯バサミを持っていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> •この場所を使いたいな。 •まずは並べてみようかな。 <p>○気に入った角度から写真を撮る。</p> <ul style="list-style-type: none"> •上から撮りたいな。 •もう少し付け足してみようかな。 <p>○集まって自分や友達の撮った写真を見る。</p> <ul style="list-style-type: none"> •私が工夫したところを見てほしいな。 •これはどうやったんだろう。 •この色の組み合わせが面白いな。 •きれいだな。 •まねしてみようかな。 <p>○友達の作品を見てさらに活動を広げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> •あの子の色の使い方が面白かったな。 •どこに付け足しをしようかな。 •きれいだったから新しくしてみようかな。 	<p>技</p>	<p>○洗濯バサミを取りに行くときに、一度にある程度の数を持てるように、かごを用意する。</p> <p>○様々な場を使えるように声かけをする。</p> <p>○自分の気に入った角度が見つかるように声をかけたり、撮影の支援をしたりする。</p> <p>○児童が撮った写真の、どこに注目してほしいのかが明確になるように、指棒などを用意する。言葉での説明が苦手な児童には、教師が言葉をつけ足したり、代わりに説明したりする。</p> <p>○鑑賞の時間での児童の眩きをとらえて、活動の仕方に困っている児童がいたら支援をする。</p>